



めざせ! 南十字星

笑顔があふれ、しあわせを感じられる学校

学校便り
令和5年 1月号
ヨハネスブルグ日本人学校

令和5年、新たな年を迎え、新たな一歩を

新年明けましておめでとうございます。



夏も後半を過ぎたこの時期ですが、保護者そして、日本人会の皆様には輝かしい新春を迎えられたことと存じます。旧年中は、コロナ禍への様々な対応等が続く中、多大なご理解及びご協力、ご支援を頂きましたことに心よりお礼申し上げます。南アでも日本でも未だ終息とはいかないものの、ウィズコロナの対策をとりながら、子供たちの充実した教育活動を推進していけるよう、新年にあたり、さらに気を引き締めていかなければならないと痛感しております。

さて、今年の十二支は、「卯（う）」年です。もともと十二支には、それぞれの字には、人の幸せを願う意味が込められています。十二支の4番目である「卯」という字は、ウサギです。ウサギは、動物のなかでも、おとなしく穏やかなイメージがあり、家内安全の象徴としての意味をもっています。さらに、その大きな跳躍力から、飛躍や向上という意味をもっています。その意味では、子どもたちの学校生活にジャンプアップが期待される、ぴったりの年と言えます。



さて、昨年を振り返ると、年度当初からのコロナ対策のためのマスクや手指の消毒などが9月まで続いたものの、元気よく学校生活を送る子どもたちに教職員は大変勇気づけられたものでした。駐車場で整列して元気よく挨拶をする子供たちを前にして、「今日もあの子は元気だな。」「朝ご飯はしっかり食べられたかな?」などと感じてきました。改めて、「あいさつ」のもつ意味を今だからこそ余計に大切にしたいものです。

あいさつの心

あいさつとは・・・

- 1 自分の心を開くこと
- 2 相手を認めること
- 3 人として生きていくうえで大切な流儀

あいさつができると・・・

- 1 相手も心を開いてくれる
- 2 相手も自分を認めてくれる
- 3 周りの見る目がかわる

ある資料に書かれていた、この「あいさつの心」ですが、どれもなるほどと納得できます。

昔からあいさつは、「人を尊重する心の表現」と言われており、「おはようございます」「こんにちは」「おかえりなさい」「ただいま」などの明るいあいさつの一声がしっかりと人の心に温かく届くものであることをご家庭と共有しながら一層取り組んでいきます。

様々な困難に打ち勝ち、子供たちの未来の扉をも開くであろう、あいさつを大切にしていきます。

いよいよ3学期！今年度のまとめをしっかりと進めよう！

3学期の始業式では、学ぶことの楽しさ、大切さについて話をしました。

子供たちが笑顔になるためには、学校生活が楽しいことが大事です。そこで生まれる笑顔は、まずは「友達となかよく遊ぶ、触れ合う楽しさ」、そして、「協力して生活する楽しさ」から広がります。

さらに学習において「学ぶ楽しさ」をしっかりと実感して「素敵な笑顔が広がる」ことを期待しています。学校での「学ぶ楽しさ」として、次の3つを考えています。

1. 「発見する・わかる」……………知的な好奇心・探求心の充足
2. 「高め合う・認め合う」……………学び合う仲間への貢献・安心感・自己有用感
3. 「できるようになる・わかるようになる」……………自己の成長の実感・達成感・自己肯定感・自尊感情の向上

緑色の言葉は、学校として狙うところですので、子どもたちに詳しく説明する必要はないのですが、学校で学習するからこそ、「学ぶ楽しさ」には「ACADEMIC 学問的な面」に、「TEAMWORK 集団の面」が加わり、そして、子供たちの「GROWTH 成長の面」があると思います。

子供たちが集まって、様々な事柄を体験し学習して、実感することも重要だと考えます。小規模校であっても、「学ぶ楽しさ」をたくさん感じる事ができる授業で子供たちがさらに楽しく学べるように、教員全員で切磋琢磨して授業力向上に取り組んでいます。

